

# 淀川水系河川整備計画の計画 内容の進捗の点検について

平成21年3月16日

## 淀川水系流域委員会の 任務について(要請)

1. 淀川水系河川整備計画(案)の作成するにあたって意見を述べること。
2. 淀川水系河川整備計画の計画内容の進捗の点検にあたって意見を述べること。

## 進捗点検とは

- 計画の内容については、Plan(計画)、Do(実施)、Check(点検・評価)、Action(処置・改善)のサイクルを考慮し、随時、進捗状況を点検して、必要に応じて見直しを行うものとする。進捗状況の点検にあたっては、淀川水系流域委員会の意見を聴く。

(淀川水系河川整備計画(案)h20.7.11訂正版はじめにより抜粋)

## 今期流域委員会の役割

- 1) 河川管理者の進捗点検の進め方について提案する(4月8日まで)。
- 2) 過年度に実施された事業の進捗点検結果に対して意見を述べる(7月末まで)。
- 3) 河川整備計画に基づく事業の進捗点検の進め方について意見を述べる(7月末まで)。

## 第83回委員会以降の作業状況

- 第17回委員会作業検討会（平成21年2月9日）  
委員会が考える進捗点検の方向性の検討
- 第18回委員会作業検討会（平成21年2月18日）  
進捗点検を行うための視点・指標を整理
- 第19回委員会作業検討会（平成21年3月9日）  
視点・指標と基礎案項目マトリックス表検討
- 第20回委員会作業検討会（平成21年3月13日）  
視点・指標と基礎案項目マトリックス表検討

## 進捗点検の目的

進捗点検の目的は、河川整備事業が適正に実施されているかどうかを点検し評価することによって、実施計画の改善や将来の方針や計画の改善に結びつけることにある。そのためには、進捗点検を、PDCAサイクルによる順応的管理を実現するための手順に位置づけることが望まれる。

# 進捗点検の視点

河川整備に求められる基本的な視点ごとに評価指標を検討する。

- ①環境：川と湖沼の自然再生（竹門・西野）
- ②治水：いかなる洪水に対しても氾濫被害をできるだけ最小化する（綾・宮本）
- ③利水：利水と河川環境の調和（持続可能な利水）（千代延）
- ④利用：川に活かされた利用（川上）
- ⑤統合的流域管理：複眼的で総合的な管理（中村・竹門・水野）
- ⑤主体参加の視点：プロセスを共有する（川上・水野）

# 進捗点検の基本的考え方

【進捗点検の対象の種類】～建設的な評価のために

S:現在の状況を評価するもの（Status Indicator）

P:制度や社会システムの現状を評価するもの（Process Indicator）

I:事業の成果として受益が担保されているかどうかを評価するもの（Impact Indicator）

【個別事業の計画全体に対する整合性】

個々の事業目的に対する評価にとどまらず、事業の構成、優先順位、実施順序といった全体的な視点からの評価を行なう必要がある。

# スケジュールについて

- 1月～3月 ・進捗点検の視点と指標の検討・審議
- 4月 ・進捗点検の視点と指標の提示
- 4月～5月 ・進捗点検の実施
- 6月～8月 ・「進捗点検への意見」、「新たな整備計画による事業の進捗点検への意見に対する提言」を審議、決定  
・河川管理者へ提出